

佐賀市都市計画マスタープランに対し意見表明 ～治水・防災対策においてハード対策とソフト対策を併用した実施等を要請～

日本損害保険協会佐賀損保会(会長:岩田 高明 東京海上日動火災保険株式会社 佐賀支店長)では、2025年1月8日付で公表された佐賀市都市計画マスタープランの意見募集に対し、2月6日付で意見表明を行いました。

当該プランは、同市における都市の将来像や土地利用の基本方針、都市施設(道路、公園、下水道等)の整備方針などを明らかにする都市計画の基本的な指針として位置づけられ、これまでのまちづくりの成果や社会情勢の変化を踏まえ、みんなに愛される「佐賀らしさ」あふれるまちの実現に向けた取組をより一層推進すべく策定されたものとなっています。

佐賀損保会では、都市防災の分野において、ハード対策はもちろんソフト対策を併用した治水・防災対策の実施および内水氾濫による洪水対策に対して、次のとおり意見表明しています。

P.2 序章 都市計画マスタープランの策定にあたって

(1) 都市計画マスタープラン策定の背景と目的

「改訂から一定期間が経過し、人口減少や少子高齢化の更なる進行に対応したコンパクトな都市構造の形成、ウォーカブルなまちづくりの推進、激甚化・頻発化する災害への対応、脱炭素社会の実現など、都市づくりに求められる社会情勢も大きく変化」しており、今回の改訂によって、「みんなに愛される「佐賀らしさ」あふれるまちの実現に向けた取組をより一層推進するための新たな都市計画マスタープランを策定」するとの目的に賛同いたします。

P.50 第5章 分野別方針 5-6 都市防災

(3) (1) 震災・火災対策の方針

「方針1. 地震・火災対策の推進」や「方針3. 災害時における円滑な避難・防災活動の推進」について、賛同いたします。

P.86 (3) 建物全壊率の状況によると、佐賀駅から西部や鍋島駅周辺において全壊率50%以上の区域が広がっており、「商業施設などが密集する佐賀駅周辺や狭あい道路が多く沿道に老朽化した建築物等が密集する地区では、建築物の不燃化対策を促進します。」や「災害時の避難や緊急物資の輸送等に備え、国や県と協力して市庁舎などの防災拠点間をつなぐ道路ネットワークを確保するとともに、橋梁などの道路施設及び沿道の建築物の耐震化や無電柱化などの環境整備を推進します。」は特に重要な施策であると思慮いたします。

P.50 第5章 分野別方針 5-6 都市防災

(2) 水害・土砂災害対策の方針

「本市の平野部の河川は、有明海の潮汐の影響により、満潮時の集中豪雨での排水不良が生じやすいことから、河川改修などの河川整備や沿岸部における高潮対策などの基盤整備による治水対策を推進する」との方針に賛同いたします。

なお、P85(2) 浸水災害を見ると、外水氾濫による洪水においても都市計画区域内の大部分での浸水が想定されており、更に垂直避難も困難な浸水深が5mを超えるよう地域もあることから、河川改修などのハードはもちろん、ソフト対策を併用した治水・防災対策の実施をお願いしたい。

P.50 第5章 分野別方針 5-6 都市防災

(2) 水害・土砂災害対策の方針

「浸水被害を軽減するために、調整池などの一時的に雨水を貯留できる施設を整備し、雨水流出抑制を図ります。」との方針に賛同いたします。

なお、雨水貯留施設の整備に賛同いたしますが、P85(2) 浸水災害を見ると、内水氾濫による洪水において

都市計画区域内の大部分での浸水が想定されている一方、P80(3) 公共下水道(汚水・雨水)の整備状況によると公共下水道(雨水)は事業計画区域内の整備済率は 58.8%に留まっていることから、雨水を速やかに排除する下水道も、貯留等とのバランスを取りつつ推進をお願いしたい。

P.50 第5章 分野別方針 5-6 都市防災

(2) 水害・土砂災害対策の方針

「急傾斜地崩壊防止事業の推進により、急傾斜地における地震や集中豪雨に伴う土砂流出、土石流、がけ崩れなどの防止に努めます。」「土砂災害などの災害リスクが高い地域については、災害ハザード情報などを踏まえつつ、新たな住宅の立地を抑制し、災害リスクが低い地域へのゆるやかな居住誘導を図ります。」との方針に賛同いたします。

P84(1) 土砂災害を見ると市域北川の山間部においては広く土砂災害計画区域等に指定されていることから、先の居住誘導はもちろん、県のがけ地近接等危険住宅移転事業なども活用し、より災害から市民に暮らしを守る施策を推進することは重要と考えます。

なお、些末なことではありますが、当該方針は「努めます。」と表記されておりますが、「(2) 水害・土砂災害対策の推進」の他の2つでは「推進します。」「図ります。」と表記されており、2つの対策と劣後するような印象も与えかねないことから、もし、そのような意図がなければ他の2つと同等の表記をしていただきたい。